

● I K I の社会貢献活動

第 25 回ロボット&プログラム体験教室

世田谷区立芦花小学校「サマーワークショップ 2016」



8月5日（金）今夏一番の猛暑のなか、東京都世田谷区の区立芦花小学校で、当社（I K I）社会貢献イベント「ロボット&プログラム体験教室」を行いました。同校で7回目となるこの体験教室。今回は高学年 17 人の子供たちが参加、2人1組でプログラミングに挑みました。

芦花小学校での当教室は、2011年の開始当初から、毎年実施される恒例の人気イベント。毎年定員を上回る応募があります。今回は5年生、6年生の男子13人、女子4人の小学生の参加のほか、併設する芦花中学校の男子生徒4人もボランティアで参加しました。



体験教室はまず、子供たちに思いつくロボットについての質問からスタート。「ガンダム、ルンバ、アシモ、ペッパー」などお馴染みの名前が挙がり、更に「恐竜ロボ、車をつくるロボット」などの発言がありました。

続いて、2人1組のチームで車型のロボットキットを組み立てたあと、プログラムに挑戦。練習プログラムは、「2秒走って2秒戻ってとまる」、光センサーを利用して「暗く（明るく）なったら曲がる」、さらにはそれを繰り返すといった命令を盛り込みます。子供たちは、自分たちがつくったプログラムどおりにロボットが動くと、「すごい！」と目を輝かせました。

練習プログラムをマスターしたあとは、黒い楕円形のコースに沿って走らせるライトレースプログラムに試行錯誤。うまく曲がらなかったり、コースから外れたり一筋縄ではいきません。それでも、ライトレースができるようになったチームは、今度はレースのルールである1周を40秒で回するために、知恵を絞ります。子供たちは、少しでも40秒に近づけようと何度もプログラムを調整し、ロボットを試走。終盤のチーム対抗レースでは、努力の甲斐あって、全チームが完走しました。

最後の表彰式では、当教室始まって以来2回目となる、40秒ジャストの記録を出したチーム「ドクターのりまき」（好きなアニメの名前だそう）が優勝。なんと2位のタイムも39.94秒、3位は2チーム同タイムで39.63秒という、4チームが1秒に満たない僅差での結果になりました。



表彰された子供たちからは、プログラムについて「身の回りの物に使われているのが分かった」「どんなものに使われているのか調べたくなった」「仕組みが分かった」などの感想が聞かれ、多少なりとも興味を持ってもらえたのではないかと思います。

また、アンケートでは、「とても楽しかった」「また参加したい」と参加者全員に答えていただきました。

子供たちに「ものづくりとITの楽しさ」に触れてもらうこのイベント、また来年も呼んでいただけるよう活動を継続して参ります。

<お問合せ>

経営企画室

(電話：03-6400-7010)